チーバくん大使が体験する！日本の水道水づくり

チーバくん大使とは？

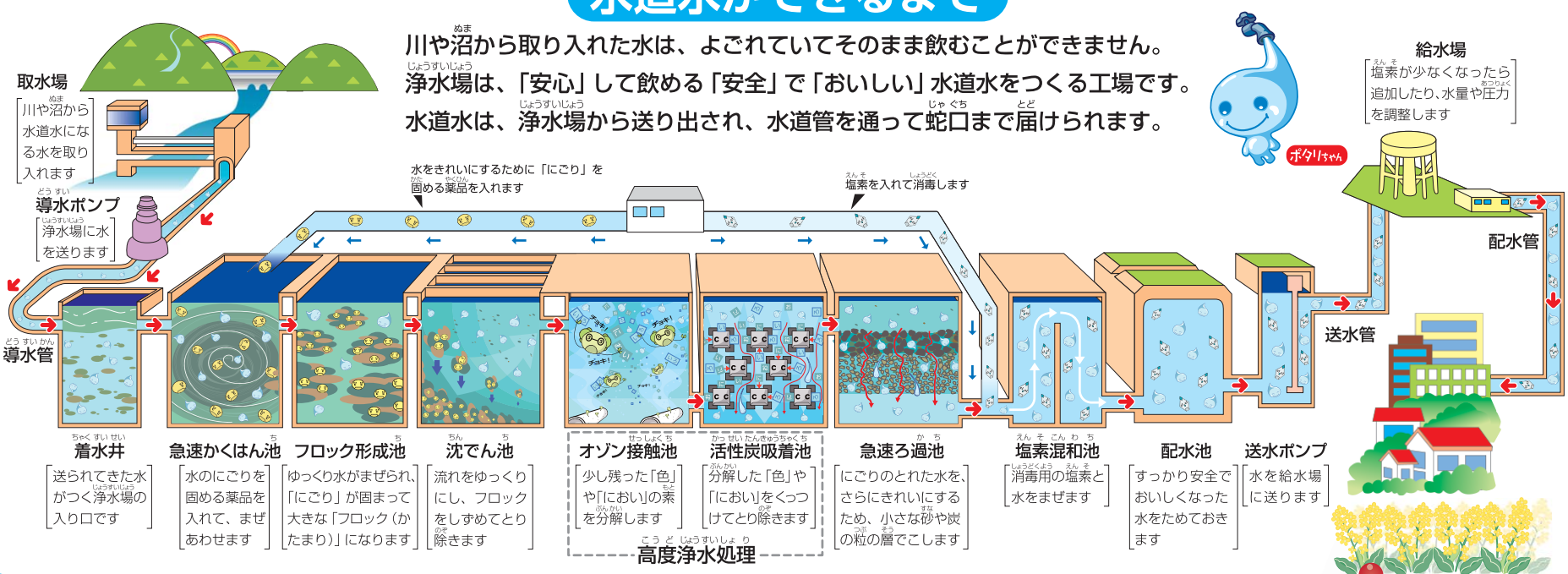
千葉県では、県内在住の外国人留学生などを、毎年「チーバくん大使」に任命しているよ。

チーバくん大使は、千葉県の観光や文化、食、日常生活などについて体験し、感じたことを、個人のブログやFacebookなど、SNSを使って、母国語で千葉の魅力を発信しているんだ。

今回は、水道局給水80周年を記念して、チーバくん大使が日本の水道技術を体験するため、ちば野菊の里浄水場を見学したよ。

水道水ができるまで

川や沼から取り入れた水は、よごれていてそのまま飲むことができません。
浄水場は、「安心」して飲める「安全」で「おいしい」水道水をつくる工場です。
水道水は、浄水場から送り出され、水道管を通って蛇口まで届けられます。



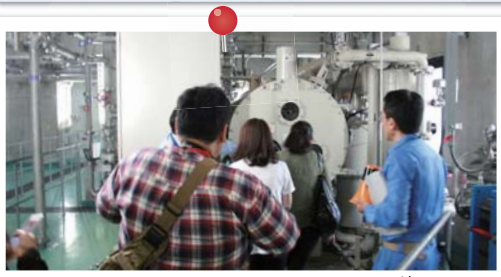
ちば野菊の里浄水場は平成19年度に完成した浄水場で、江戸川から取水して主に松戸市、市川市、船橋市へ水道水を配っているよ。1日に作る水の量は約57,000㎥。オゾンや活性炭などの高度浄水処理施設を持ち、「安全でおいしい水」をつくるため、365日24時間動いているんだ。

① 座学

まずは勉強！千葉県の水道の技術や、ちば野菊の里浄水場がどのような施設か学んだよ。

② 浄水処理実験

次に、川の水がどのようにきれいになるか、実験を通して学んだよ。ろ過やオゾン処理で、濁った水がきれいな水になったのを見て、みんな驚いていたよ。



③オゾン処理施設の見学

さっき学んだオゾン処理は、実際にどのような施設で行っているかを見学したよ。

④浄水場概要見学

浄水場の模型を見て、水をどこから取って、どこできれいにしているかを学んだよ。

チーバくん大使の感想

王　郁玟さん（台湾）

台湾の人々は、水道水は「飲めない」というイメージを持っています。私はいつもペットボトルの水を買って飲んでいました。

日本の水道水が直接飲めるということは、日本にきて一番びっくりしたことでした。今回の見学で、なぜ日本の水道水がきれいなのかよくわかりました。

これからも、「安全でおいしい水」づくり、がんばります！

李　智賢さん（韓国）

韓国では、水道水をそのまま飲む人はほぼいません。抵抗感を持っている人が多いんだと思います。日本では、国民全体が水道水の品質を信頼して利用していることが、とてもすごいと思いました。

⑤ 最後はみんなで記念撮影！

趙　一奇さん（中国）

私の住んでいたところでは、朝蛇口をひねると黄色くて生臭い水道水が出てきます。常に水を買い置きしておかないといけません。日本に来てすぐに水道水を飲んでみましたが、とてもおいしかったのが印象的でした。浄水場の室内は白いくつ下で歩いても汚れないくらいきれいで、日本の仕事の細やかさを感じました。母国では比較的水がきれいな北京、上海からの水道工事が始まっているので、日本のようにきれいな水道水が飲めるよう願っています。

世界でも、日本のように水道水をそのまま飲むことができる国はあまり多くはなく、海外の人は日本に来てとても驚くみたいだね。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックではたくさんの人が日本に来てくれるから、安全でおいしい日本の水道水のすごさを、もっとPRしていきます！

水道GLP［水道水質検査優良試験所規範］を更新しました！

水道局では、皆様に安心して水道水を飲んでいただけるよう、水質センター等の水質検査により、安全性を確認しています。

水道GLPは、この水質検査の信頼性を保証する日本水道協会の制度です。

このたび水質センターでは、水道GLP取得から４年が経過し、再審査の結果、引き続き優良試験所であることが認められました。

これからも安全でおいしい水を365日24時間お届けできるよう努めてまいります。